

各エディションの機能比較

	Standard	Plus	Analytics Pro	Reader
質的データ分析	✓	✓	✓	MAXQDAで作成したファイルを開覧するためのフリーソフト
量的テキスト分析		✓	✓	
統計データ分析			✓	

動作環境 (2022年9月現在)

	Windows	Mac
OS	Windows 11※、10※ ※64bit(32bitは非対応)	Mac OS 12.0、11.0、10.15、10.14
CPU	最小：2コア1.6GHz 推奨：4コア以上かつ2GHz 以上 ※ARMプロセッサ搭載のタブレットコンピュータは動作対象外	最小：2コア1.6GHz 推奨：4コア以上かつ2GHz 以上 ※ARMのApple M1/M2チップ搭載機には今後対応予定 M1チップ搭載機はRosetta2で使用可能
RAM	4GB 以上 推奨：8GB以上	
インターネット接続	初回設定時のライセンス認証で必須。一度認証した後はインターネット接続は不要。	

ライトストーンのサービスのご紹介

MAXQDAウェビナー

基本操作から分析機能まで、幅広い操作方法が学べる無料ウェビナーです。MAXQDAの実際の画面を表示しながらウェビナーを進行しますので、「画像や文章だけではきちんとした使い方が出来ていないかわからない」と感じている方に特におすすめです。

基本操作
グループ間の比較
図解ツール など



<https://www.lightstone.co.jp/pr/maxqda22/w.html>

MAXQDAの使い方

多様なMAXQDAの機能を「データのインポートと整理」「データの分析」「図解ツール」「複数人で分析する」などのシーン別にご紹介しています。PlusやAnalytics Proのみで利用できる「MaxDictio」や「MAXQDA Stats」機能などの操作方法もご案内していますので、使い方に迷ったときはぜひご利用ください。

アンケート分析
インタビューデータ分析
Twitter感情分析 など



<https://www.lightstone.co.jp/pr/maxqda22/u.html>

日本語テクニカルサポート

MAXQDAのインストールや操作方法に関するお問い合わせを無償で承ります。困ったときはサポートにご相談を！

使い方ガイド(PDF)

ライトストーンのテクニカルスタッフが「初めてMAXQDAを使う方には、ぜひこの機能を知って欲しい!」と思った機能を厳選して作成した、ライトストーンのオリジナル操作資料です。初心者の方が躓きがちなMAXQDAの導入部分を徹底解説&サポートします。



ファイルのインポート画面の見方
コードのつけ方 など

MAXQDAワークショップ

質的研究の専門家をお招きして、質的データ分析の基礎とMAXQDAの基本操作を学べるワークショップを毎年開催しています。

1日コース コーディングやMAXQDAの操作を中心に、質的研究の基礎をコンパクトに学習

2日コース 1日コースの内容に加えて、分析の結果を論文にまとめるまでの過程を実践的に学習

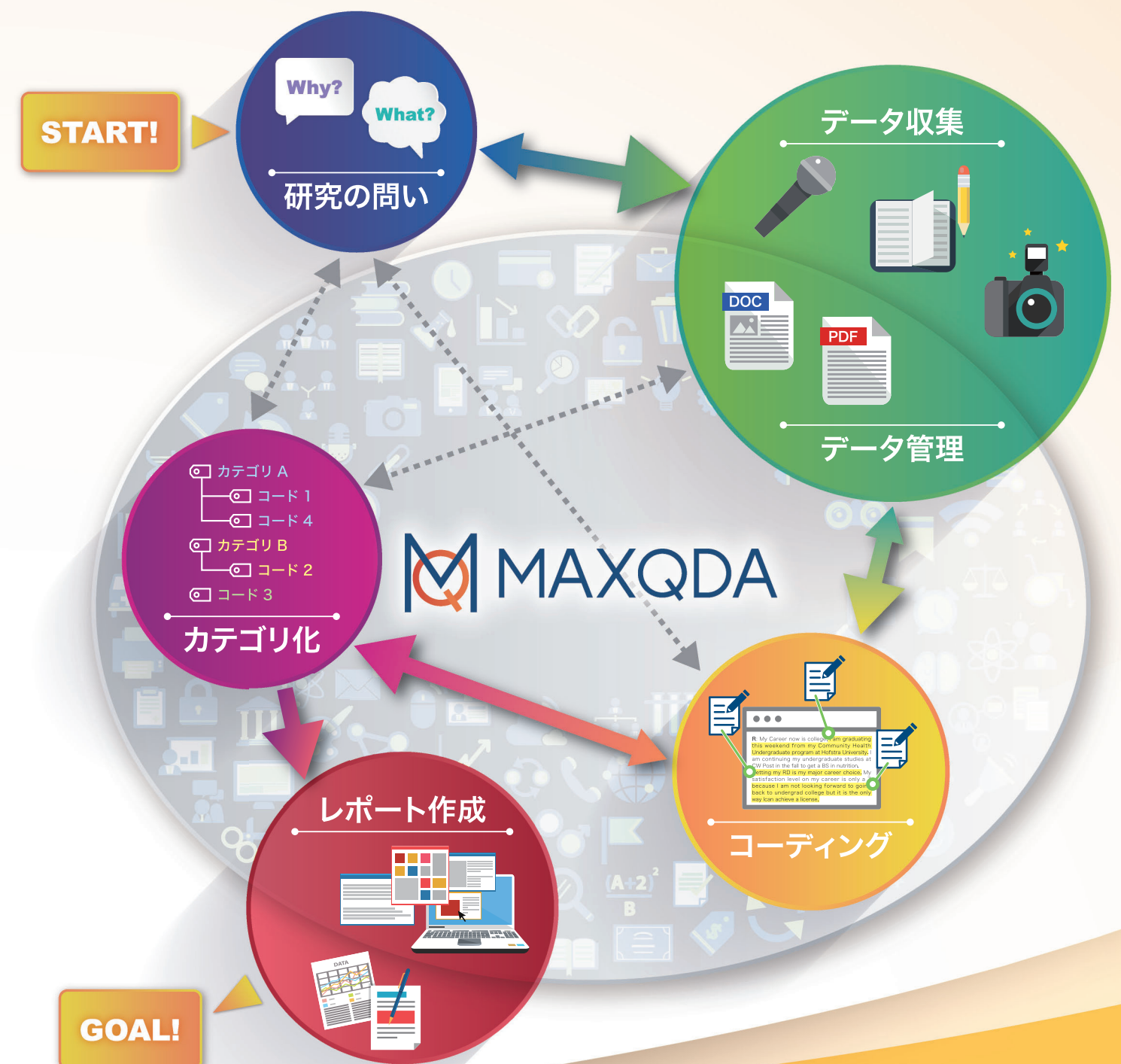


<https://www.lightstone.co.jp/pr/maxqda22/ws.html>

質的&混合法データ分析ソフトウェア

MAXQDA

これ1つで質的データの管理、分析、可視化、レポートの作成が可能！
グラウンデッド・セオリー・アプローチのように、テキストにコードを付けていく
分析手法をはじめ、様々な分析手法に対応可能です



開発元

VERBI
Software - Consult -
Sozialforschung GmbH
VERBI Software, Consult, Sozialforschung GmbH

正規国内代理店

LightStone
株式会社 ライトストーン

25年以上の経験と実績でお客様をサポートします。

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-5-12 龍角散ビル7F
TEL 03-3864-5211 FAX 03-3865-0050
E-mail : sales@lightstone.co.jp
<https://www.lightstone.co.jp/maxqda/>

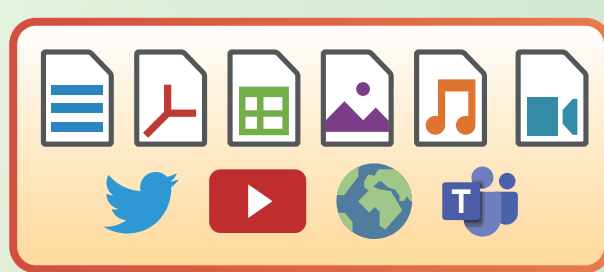
MAXQDA
Certified Partner

データの収集・体系化・分析・可視化・レポートの効率化にお役立てください



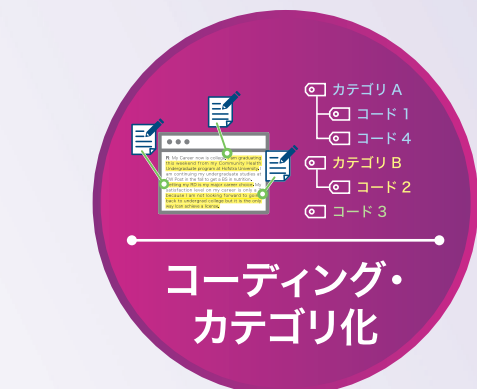
データ収集・管理

- テキスト、Excel表、画像、音声、動画、ツイート、YouTubeコメント、Microsoft Teamsの書き起こしファイルなど、あらゆる形式のデータをインポートして一括管理
- EndnoteやMendeleyなどの文献管理ソフトからのインポートも可能



データ一覧

- 文書を自由にグループ分けして整理
- 文書に紐づく量的データ(人の年齢や性別など)を使用して自動的にグループ作成



コーディング・カテゴリ化

- 文章、画像、音声、動画に対して直接コーディング
- グラウンデッド・セオリー・アプローチのためのオープンコーディング、文章をそのままコード名にするインビボコーディングにも対応

辞書を用いた自動コーディング

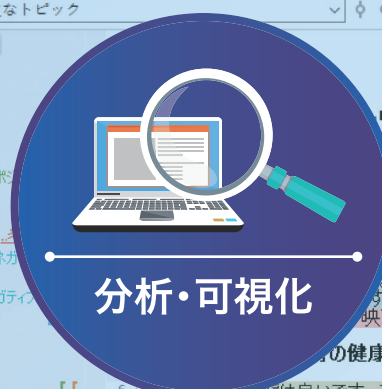
Plus Pro

例) プラスの感情/マイナスの感情の単語を辞書登録し、自動検索&コーディング

- 作成したコードをツリー形式で表示
- ドラッグ&ドロップで簡単にコードを整理(カテゴリ化・コードの統合)
- ツリーの左側ほど抽象度が高く、コードの構造を直観的・視覚的に把握可能
- コードの数による文書のグループ分け



レポート作成

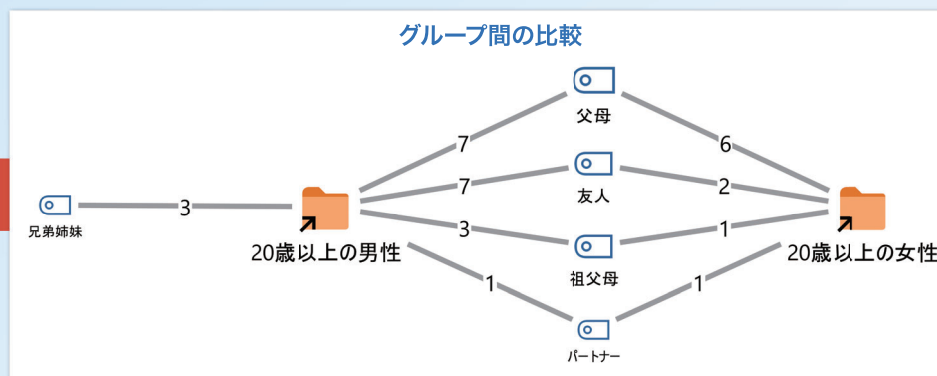
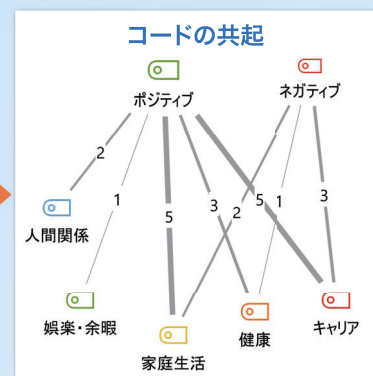


分析・可視化

メモ

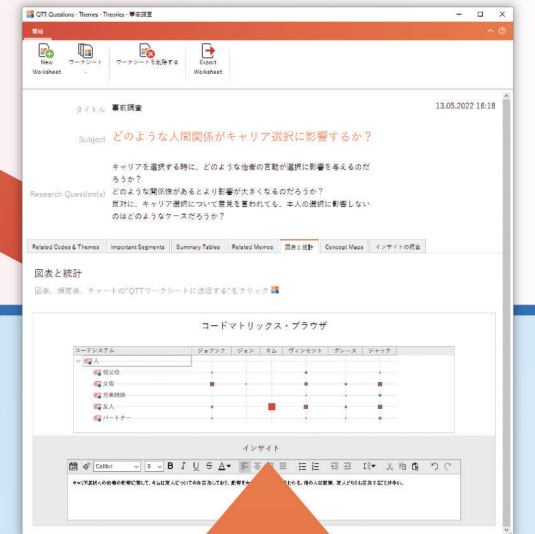
- 研究のアイデアを書き留めるメモをあらゆる場所に貼り付け可能
- 作成したメモの一覧表示、並べ替え、検索、リンク、グループ分け

コーディング結果検索



QTTワークシート NEW

- 研究の問いやテーマごとに設定し、関連するコーディング結果やメモ、図表、サマリーを一箇所にまとめ、結論やさらなる疑問などを総括
- ワンクリックでWord形式のレポートとして出力



出力

- コードを付与したセグメントを数クリックで検索し一覧表示、エクスポート
- 検索結果から元データへ瞬時に移動

量的テキスト分析 Plus Pro

- 単語の頻度と組み合わせの分析
- 文中キーワードの分析
- 辞書機能を使った内容分析

統計分析 Pro

コードの頻度や属性情報を統計分析

- 度数分布表
- クロス表
- 信頼性
- 記述統計
- 相関
- 一元配置分散分析

数値データの裏付けで質的分析の説得力アップ

